

ポリビニルアルコール特殊銘柄「ニチゴーGポリマー」がポリエチレン系多層包材において
欧州でリサイクル可能素材として認証を取得

三菱ケミカルグループ^{※1}（以下「当社グループ」）のポリビニルアルコール（以下「PVOH」）の特殊銘柄ニチゴーGポリマー[™]の代表グレードである BVE8049P が、欧州のリサイクル認証機関である Institute cyclos-HTP GmbH（以下、cyclos-HTP）により、リサイクル可能な素材として認証を取得しました。



ニチゴーGポリマー[™]の用途例（食品包装材）

Institute cyclos-HTP GmbH
Institute for recyclability
and product sustainability



cyclos-HTP の認証ラベル

ニチゴーGポリマー[™]は、水溶性、ガスバリア性、熔融成形性に優れた生分解性のビニルアルコール系樹脂であり、水に溶かしてフィルム上にコーティングすることもできるバリア材料です。これらの特長を生かして、乾燥食品用のバリア包装材や生分解性樹脂との組み合わせによる生分解性バリア包装材などに使用されており、食品の風味や品質を長持ちさせることでフードロス削減に貢献することから、欧州を中心に需要が拡大しています。一方で、食品包装材をはじめとする樹脂製品は、資源循環の観点から素材のリサイクル性が求められており、包装材として広く使用されるポリエチレンなどの樹脂のリサイクルに影響を与えないバリア材料の要求が高まっています。

このたびの cyclos-HTP による評価では、ポリエチレン系多層包材において、ニチゴーGポリマー[™] BVE8049P の含有率が 5wt%以下であればリサイクルが可能との結果が得られました。なお、一般的に PVOH は、ポリエチレン系多層包材においてリサイクルに適さない素材とされています。このことから本認証の取得は、ニチゴーGポリマー[™]が従来の PVOH とは異なり、リサイクル性に優れたバリア材料であることを示すものであり、フードロス削減のみならず、資源循環にも貢献する素材であることをあらためて裏付けたものです。

需要拡大に応えるため、ニチゴーGポリマー[™]を含む PVOH 特殊銘柄について、2024年10月から岡山事業所（岡山県倉敷市）にて新プラントを稼働し、生産能力を現行の約2倍に増強する予定です。

当社グループは、今後もニチゴーGポリマー[™]の展開を通じて、高付加価値な機能商品を供給するとともに、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

■ご参考

- ・ニチゴー G ポリマー™ 製品サイト：<https://www.gohsenol.com/g-polymer/>
- ・cyclos-HTP について
 - 設立：2014年
 - 所在地：ドイツ アーヘン
 - 代表者：Sandra Beckamp (CEO)、Dr. Joachim Christiani (CEO)
 - 事業内容：包装材などのリサイクル性の分類、評価、認証、および研究開発を行う企業
 - URL：www.cyclos-htp.de

※1 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

以上

お問合せ先
三菱ケミカルグループ株式会社
コーポレートコミュニケーション本部
メディアリレーション部 TEL：03-6748-7140